

教育・保育活動における実践研究の勧め

「エビデンス・レベル」を踏まえたデータ活用の手立て

著：鈴木 久米男

「なんとなく」から卒業し、教育の実践をエビデンスで示す力

教育・保育の現場では、工夫を凝らした多様な実践が日々行われています。本書は、それらを単なる経験談で終わらせず、データに基づいた検証と改善へとつなげるために、実践研究としてまとめていくプロセスを、わかりやすく示した一冊です。研究初心者でも取り組める構成で、大学・短大の教職課程、現職教員研修、園内研修にも最適です。

- 第1章 教育課題の抽出及び教育実践研究を進めるために
第2章 学校の教育活動や教育実践研究におけるデータ活用とエビデンス
第3章 データ活用の目的と場面
第4章 教育活動におけるデータの種類と分析の方法
第5章 分析1：クロス集計表の χ^2 検定による分析
第6章 分析2：指導法により達成状況に有意な違いがあるのか
第7章 分析3：学年による環境認識の違い
第8章 分析4：国語と社会、国語と数学の得点の関係

ほか

◆ 本書の特長 ◆

- 「エビデンス・レベル」を定義し、学校でのデータ活用を整理。
- 数値・テキストの分析法を、フリーソフト前提でまとめた。



【著者略歴】

鈴木久米男（すずき くめお）

兵庫教育大学大学院博士課程修了（学校教育）。
福島県公立学校、福島県教育センター、新潟薬科大学応用生命科学科、岩手大学大学院教育学研究科を経て現職。
教員研修、学校マネジメント、学校安全等を主な研究対象としている。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	著：鈴木 久米男 教育・保育活動における実践研究の勧め 「エビデンス・レベル」を踏まえたデータ活用の手立て 144頁 / A5判 / ソフトカバー 定価1800円+税 ISBN978-4-8244-0172-4 C2037
ご注文は、JRCへ FAX03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。